

保健福祉企画総務課長 様

担当課長 政令指定都市推進課長
大月 秀樹

設計支援委員会結果報告書

平成20年8月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	中区役所(仮称)施設整備工事 既存施設において、誘導ブロックや案内サイン、ローカウンター等を増設する。
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
<p><視覚障害者を誘導する装置について> (案内サイン)</p> <ul style="list-style-type: none">・トイレの入り口に触知図をつけてもらいたい。 <p>(注意喚起用・誘導用床材)</p> <ul style="list-style-type: none">・トイレへの誘導ブロックはどう考えていますか?・階段室への誘導ブロックはどう考えているか?	<ul style="list-style-type: none">・既存建物が民間施設の為、所有者と協議して、多目的便所の入り口付近に便器の位置などレイアウトを示す触知板の取り付けを検討します。・トイレへの誘導用床材の敷設は、各フロアの各諸室と同様に扱い、誘導ブロックによる誘導は行いません。但し、案内板(点字併用)内の平面図にピクトサインにて位置を表示します。・上記、トイレの位置表示と同様に案内板(点字併用)内の平面図にピクトサインにて位置を表示します。 誘導用床材による誘導は、視覚障害者の方にインフォメーションや上階にアクセスするのに一番安全な経路に誘うよう考えており、あえて障壁が予測される階段室への誘導は考えておりません。

<車椅子利用者用便房について>

・視覚障害者(弱視)からの使い勝手からすると、トイレ内のペーパーホルダーの上の洗浄ボタンと緊急通報ボタンを押し間違えないように、ボタン間の距離を離す等配慮してほしい。

・今回の中区役所(仮称)整備においては、既存トイレを活用し、便器や洗浄ボタン等の改修は行いませんが、今後の物件では、ボタン間の距離を離す等、判別しやすいよう検討していきたいと思います。